

「元輝^{げんき}学舎^{がくしゃ}」せんだ通信 11

児童川柳 「笑顔には 無限にできる 力ある」

四字熟語 「一日 一福」(一日にひとつは 福が訪れるよ)



平成24年2月21日

~校長室だより~

「長縄を みんなで練習 花がさく」(児童川柳)。この川柳に表現されているように、いずれの学年も長縄大会に向け、体育や休憩の時間に、練習の輪がクラスの和と共につながっています。

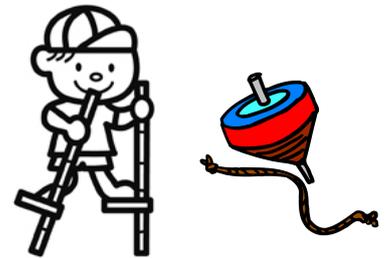
先日行われた低学年の長なわ大会では、どの学級とも練習回数を更新。大会での3分間8の字跳びでは100回を超える学級があり、前年度学年記録を伸ばしました。さぞ喜んでいだろうと思い児童の表情をみると、目標を達成できず、くやしさが。この向上心は、一層伸びしろを大きくさせ、学級の一層の連帯力にもなると確信し、さらなる成長が期待されます。



~ 「ほくも私もこんなにできるようになったよ」 笑顔と拍手の輪が広がる ~

参観日の1年生の教室から、歓声が聞こえる。教室の様子を見ると、昔遊びや休憩時間などでチャレンジし続けた技が披露されていました。

1年生としての力量を超える技の交流が。緊張感のなか、例えば、なわとびでは、あやとびや交差とびも、コマ回しでも、高度な技がみられました。ダルマ落としでは、ダルマを一段一段積み重ね集中力で払い落とすことにチャレンジする児童の姿と真剣なまなざしが。フロアーか



らは、うまくいかなければ「だいじょうぶ、くんがんばって」の声、うまくいったときには「うお~、すご~い」の声と大きな拍手がおくられていました。あきらめず、あせらず練習した成果を体全体で表現している児童の姿に接するとき、涙腺が緩むと共に、たくましさを感じ、大きな喜びも得ることができたひと時となりました。

~ 子どもたちの成長に感動した「わくわく生活科はっぴょう会」 ~

寒さを吹き飛ばすぬくもり感とほかほか感、そして程よい緊張感が体育館のステージに。参観日に、2年生が生活科の学習成果を群読や即興劇などで表現しました。

はきはきした声が会場に響き、学習成果がつながる。

「1年生との交流」では、学校の施設利用のルールやびゅんびゅんゴマの遊び方などを1年生に伝えた思い出を、「やさいを育てよう」では、育てた野菜の成長の様子を数字も加わりわかりやすく伝えるとともに、



野菜の効用や調理レシピも紹介してくれました。「とびだせ千田探検隊」では、タカノ橋商店街でのインチュ-体験を劇化し、商店街の魅力を表現していました。同時に商店街の人々の「仕事をしてみんなの笑顔をいっぱいみたいのです」と、学んだ働くことの意味についてもしっかりと伝えていました。これらを含めこれまでの学習で見たこと、感じたことを伝える児童の姿は、まさに威風堂々。同時に、内容もバラエティーに富み、分かりやすく表現されていました。そして、会の結びには、この千田のまちを「僕たちがもっと素晴らしいまちにします」「私たちがもっときれいなまちにします」と力強い宣言も。

フロアーにいた私にとって、子どもたちの発表の世界に魅了されるとともに、伸びしろの大きさを改めて実感したひと時でした。また私は「子どもたちよ、感動をありがとう。自分たちの底力、連帯力にさらに自信をもって」と発表にうなずきながら内言していました。